

学びの基盤となる【読書】



【読書】キャラクター「おっほん」

実施期間

【11/5~12/24】

札幌らしい特色ある学校教育

おっぽんシート

札幌市立中央中学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

【図書局員の活動】

校内読書週間の取り組み

校内読書週間に合わせて、図書局員おすすめの本を手書きPOP付きで紹介しました。コーナーは来館した生徒たちの目に留まり、何度も貸出しされる本もありました。



生徒参加型のイベントの企画

冬休み前の長期貸出の期間、図書館クイズのイベントを行いました。局員が作成した図書に関するクイズに3問正解で、局員オリジナルの季節のしおりをプレゼント。また、クリスマスツリーを掲示板に作り、願い事を書いてもらいました。どちらも多くの生徒が、友だちと楽しみながら参加している姿が見られました。



学習センターとしての機能

【授業の支援】

2学年国語科「ブックトーク」

2年生は国語科の授業でおすすめの本を紹介するPOPを作成しました。POPは後日、図書館内の掲示版にて紹介され、多くの生徒が興味をもって見ていました。



1学年理科「レポートを作成しよう」

1年生は、課題「動物の食べものと体のつくりはどういう関係があるのだろうか」についてレポートの作成を行いました。図書館で関連する資料を探し、クロムブックと併用しながら完成させていました。

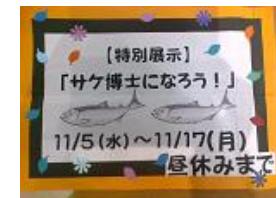


情報センターとしての機能

【身近な生き物や出来事に興味を持つ】

トランクキットの活用

校内読書週間の期間、札幌市中央図書館から、サケトランクキットをお借りして特別展示を行いました。現物に触れて感触を確かめたり、実際の重さを体感したりしたうえで、解説資料を読み、知識を深める姿も見られました。



新聞コーナー

北海道新聞、読売新聞、読売中高生新聞、道新なども新聞まんぶんを図書館内で読むことができます。また、入試や学校生活についてなど、中学生に身近な話題の特集記事を別にして掲示しています。興味を持って記事を読み、自分自身で考える姿勢を大切にていきたいです。

